



2018年4月25日

各位

会社名 東洋紡株式会社
 代表者名 代表取締役社長 榎原 誠慈
 (コード番号 3101 東証一部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 久保田 冬彦
 (TEL 06-6348-3044)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、当社は、2018年2月7日に公表しました通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2018年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	340,000	25,000	22,000	19,000	214 02
今回修正予想 (B)	331,100	23,900	20,400	13,000	146 44
増減額 (B-A)	△ 8,900	△ 1,100	△ 1,600	△ 6,000	
増減率 (%)	△ 2.6	△ 4.4	△ 7.3	△ 31.6	
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	329,487	23,332	20,650	9,444	106 38

※2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を行っています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しています。

(2) 差異および修正の理由

通期の業績予想につきましては、販売面では、「コスモシャイン SRF」が前連結会計年度に比べ販売を拡大したものの、販売計画に対しては未達に終わりました。また、繊維事業において、中東向け特化生地やスポーツ衣料製品の市況悪化が続いており、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面については、想定以上の原料価格高騰の影響が続いているため、一部の製品で値上げを実施し、また、拡販にも努めましたが、第2四半期連結累計期間でのGMP(医薬品等の製造および品質管理基準)対応費用の一括計上やスポーツ衣料製品の在庫処理に伴う費用計上をカバーするまでには至らず、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

これらに加え、2018年3月16日公表の「米国における「ザイロン®」繊維を用いた防弾ベストに関する米国政府からの損害賠償請求訴訟の和解について」に記載のとおり、米国政府から提起されていた訴訟については原告との間で和解が成立し、和解金等約74億円を当連結会計年度において特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円の見込みとなりました。

なお、本業績予想の修正に伴う年間配当予想額の変更は行いません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上